



6月号

昭和62年6月1日
発行 / 編集
岡崎市教育委員会

今朝もまた
職員室前の長い廊下を
君は黙々と掃いていた
「おはよう 御苦劳様」
「おはようございます」
恥ずかしげに 答える君
「今日も頼まれたの?」
「今日は汚かつたから……」

君が
この廊下の掃除を始めたのは
四月になつて間もない頃のこと
あの日から
君は毎朝一人で 続けてきた

教室では やんちゃな君が
めんどうだからと
毎日 教科書を全部背負つてくる君が
いつの間にか
こんな心遣いのできる六年生に……



(ジャンプ 井田小)

私は「バカの一つ覚えのように授業、授業と騒いでいる男」と言っているよ。うで、喜んでよいやう悲しんでよいやら多少の引け目を感じてはいる。しかし、教職四十年の経験に対する勲章のような評判と考えれば、ありがたいことかと感謝しなければなるまい。

ところでその授業についてであるが、私はまだ十分理解のできないところが多くある。それに加えて授業以外のところが多くのものである。

この授業以外のこととは広く且つ深く無限に私にかかわっている。私の人格形成の諸要素であることは確かである。それらの中、理論とか形成とかといった表現可能なものではなくて、私の授業と一体となって授業を授業たらしめるものがある。それをここに「機微なるもの」として考えてみたい。教師たるもの誰もが「良い授業」をしたいと願っている。この「良い」の願いの中に、教育のいかなる解説



— 教育隨想 —

この機微なるもの

内田松夫

この機微なるもの」とは一体何であろうか。でも理論でも解ききれない機微を含んでると思うのであるが、この「機微なるもの」とは一体何であろうか。

今から四十年前、昭和二十一年度に私は美合国民学校で男女別学制度の最後となつた女子組の六年生を担任した。この受け持ちの中に東京から疎開して来ていた子がいた。その子は二学期末には東京へ引き揚げて行つた。その子は後に東京教

育大学入学、教員になり、そして同窓生と結婚した。今では三十年近い教員生活を離れ主婦として教師の夫を支えて暮らしている。どういう因縁かその子とは今日まで文通が続き、時に電話で話もし、家族同士の相互訪問をする仲もある。僅か二学期間だけの受け持ちのその時に二人を引きつける何かがあったのか。その子にも、私も言葉では言い得ない何かがあつたのである。

このような体験は教職に長く携わった方ならともに経験しておられるところ

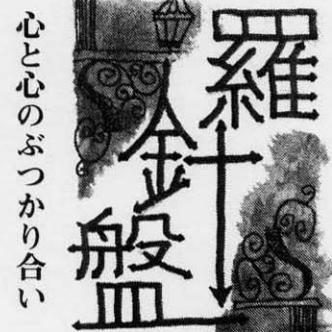
で、何も私に限つたことではない。私があえてこうした例を取り上げたのは、授業、授業というけれども、それだけを型通りにやつてはいるだけでは、まだまだ本物の教育になつてはいないのではないかと思うからである。

昔、授業の神様といわれた方が全国行脚をされたと聞くが、その一時間の出会いが子供の人生に影響を与えたであろうか。神様ならいざ知らず、私などの凡人では、一年間を受け持つ、更により長期に受け持つても、なかなか子供の人生に影響を及ぼす得なかつた。

「この機微なるもの」は一体何であろうか。教師と子供との相互信頼がその中にも含まれてはいると思うが、それは教師の人間性に解く鍵がありそうだ。バカの人が、私の中で解決されないと最近強く思うようになつてきていて。

実は、この授業以外のことが、授業と連動したり一本となつたりしないことに思つてはいる。人前に大きな顔をさらす柄ではないと思つてはいる。

授業を語る資格がないと最近強く思うようになつてきていて。



生徒指導指導員

澤 博史

一月半ば、卒業生のM子から突然の電話。定時制高校へ進学したいと言う。

M子と言えば、中学生時代、深夜徘徊家出を繰り返した問題生徒であった。担任は何度家庭訪問したことか。父親の暴力、母親の家出、家庭崩壊の中で生きる望みさえ失つた投げやりな生活。ひきずられ、なぐられるM子の間に、担任が飛び込んだこともあった。興奮する二人をしづめて、M子の将来を深夜まで話し合つた。M子と父親に対する必死の働きかけ。それは、教師が一人の人間として必ず死で生きることでもあった。生きることでのぶつかり合いによつて結ばれた心と心。M子は立ち直り就職していった。

(岡崎女子短期大学 講師)

そして、一年後、中学校では何も勉強しなかつた自分が情けない、もう一度やり直したい、と定時制を受験したのだ。問題生徒の指導は、理論や理屈ではなく見つめ、将来を真剣に考え始めたのは、

木製おけ・たるづくり

加藤 治雄



ふるさとシリーズ

—この人に聞く—

と、さびしそうに語られる。

「いい仕上げの木のふろは、肌ざわり、かおり、そりやあいもんだが、乾燥させすぎて水漏れを起こしたり、腐らせたりで、なかなかよう使いきれんようになつてきたねえ。」

仕事場には、おけの丸みを出すための手づくりの木の定規やそりのある刃をつけたカンナなどが所せましと並べられている。

浴槽に使う木は、やはりヒノキがいいんでしようか」と素人の質問に、

「ヒノキは水をはる浴槽に向かんね。腐りやすいし、高価だから。実際には、サ

ワラやマキを使うね。」

とのこと。

ヒノキでつくつてほしい」という注文もあるが、よいものをつくるうどすると材料だけで高価なものになつてしまつという。

二十才頃から四十年間、おけづくり一筋に生きてこられた人のことばには重みがある。

昭和六十一年度県の優秀技能者として知事表彰を受けられた氏は、「百こつくつて百こ満点とはいえないね」と、自分にきびしく、あくまでも謙虚である。

今は、木製のふろおけを作つても売れ版で原稿をつくりおけのちらしをくばつて歩いたりましたが、年に五・六本売れ

「若い頃は茶盆など人の目につくようなものを作つたこともあるが、「おけ」とか

「たる」というもんは、結局は実用品なんだからね。使う人が気にいってくれるのが一番なんですよ。錢金じやあない。」

二十才頃から四十年間、おけづくり一筋に生きてこられた人のことばには重みがある。

昭和六十一年度県の優秀技能者として知事表彰を受けられた氏は、「百こつくつて百こ満点とはいえないね」と、自分にきびしく、あくまでも謙虚である。

今は、木製のふろおけを作つても売れ

ないので、卸すだけだそうだが、節くれだった指が長年の修業を雄弁にものがたっている。

「時代がね、もう木のおけの時代じゃありませんですよ。」

担任との真剣な心と心のぶつかり合いに、人間として生きることの意味を考え始めたからである。今日もM子は、若葉の薰る夕暮れ道を元気一杯通学している。

公開授業から

算数数学科指導員

杉山 隆之

「いまから、さんすうのべんきょうをはじめます。」

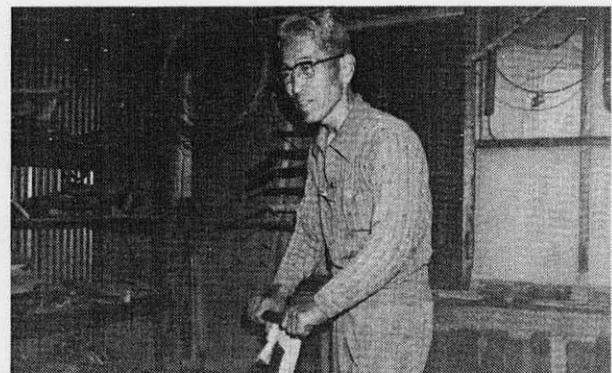
元気な声の一年生。本時の課題は、りんご十二個をいろいろな動物兄弟に分ける場合の問題である。

ひとりつ子のクマさんの場合、「分ける」ということばに抵抗を感じたのは大人である。「十二個のりんごを、ライオン兄弟に分けたら、サル兄弟に分けるりんごはなくなってしまう」というのも大人の感覚。

子供達は、そんな堅いことにはかまわない。オハジキの操作活動は続く。

「カンナをかける」というのは、欲得じやがない。よい材料をさがして、これだけの木をみつけても、乾燥させるとそつてしまつたりで、実際に使える部分はほんの少しだ。それでも、目の通つたい木に会えると、それこそ、食べることも忘れて仕事に打ち込んだもんだ。」

そう話される氏の眼の中には、木とともに生き、木の本質を見ぬくするとい職業に即し、表へ出すか否かを判断するここに指導のポイントがある。大切なことは、指導者が論理をおさえ、子供の実態に即し、表へ出すか否かを判断することであつて、大人の堅さで、子どもの柔らかさを見落とし、型にはめるようないをしてはならない。



(生年月日 大正十二年一月二十日)
住 所 大平町中道五十一

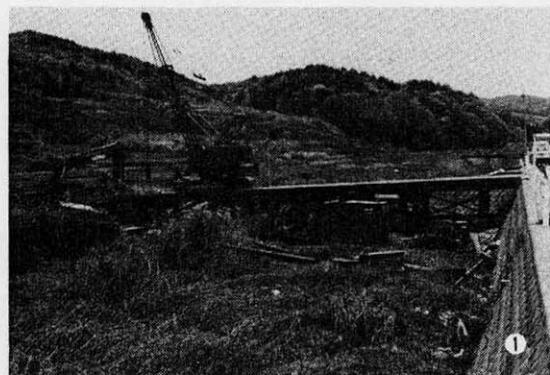
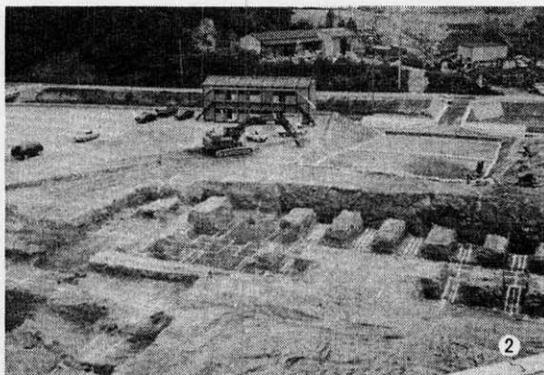
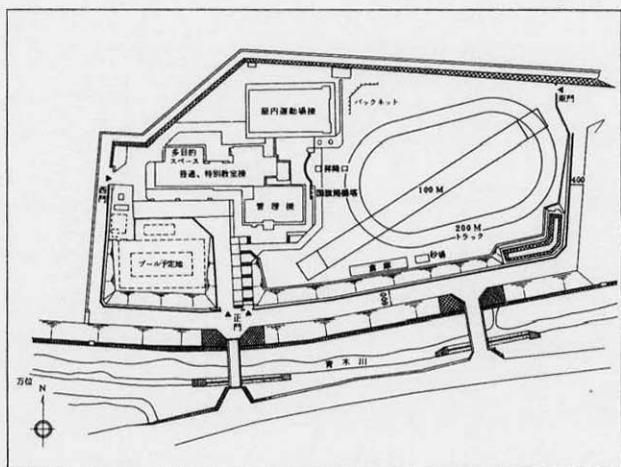


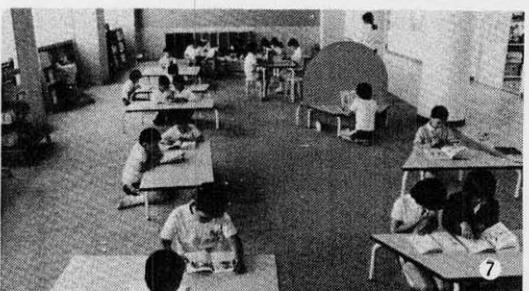
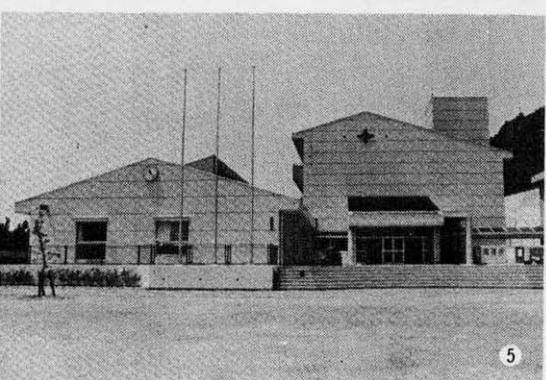
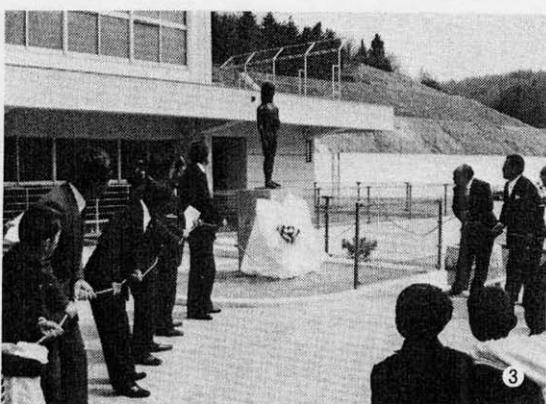
常磐東小学校校舎移転新築なる

八十六年の長い歴史と伝統をもつ常磐東小学校が、本年度、複式学級の解消と教育環境の整備をめざして新しい土地米河内町に校舎を移転新築し、併せて屋内運動場を新築しスタートした。

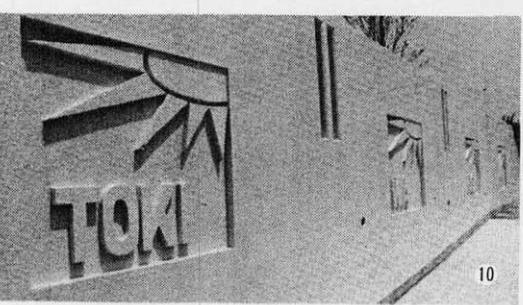
新校地面積二万六千七百十五平方メートル、提供地主十五名、山半分、田畠半分の土地に地形を生かし、今までの校舎のイメージを打ち破った鉄筋の切妻屋根の校舎が誕生した。総縦張りの多目的学習広場を低高学年用にそれぞれ設けるなど、いたる所に新しい設計が生かされている。

昨年まで五町百四十七世帯六十三名の児童が、米河内町百六十世帯を合併し、合計六町三百七世帯、児童数百十七名となり、各学年一学級で六学級の児童達が伸び伸びと学習していた。

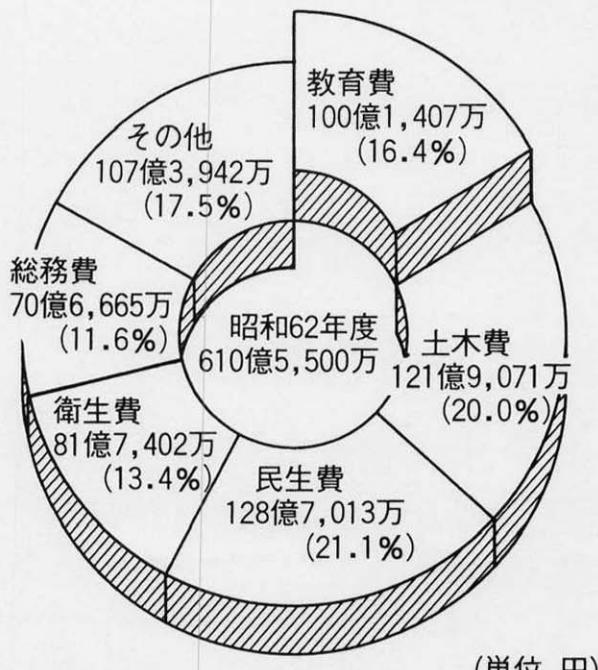




- ① 校地予定の山と田畠
- ② 校舎基礎部分の捨てコンク
リート打ち
- ③ 完工記念ブロンズ像除幕式
愛教大近藤錦郎先生作
- ④ 移転新築完工式での中根岡
崎市長あいさつ
- ⑤ 切妻屋根で軒先のある管理
棟と教室棟
- ⑥ 屋内運動場へ通じる網入り
ガラス製渡り屋根
- ⑦ 多目的学習広場 低学年用
- ⑧ 管理棟入口
- ⑨ 四月二十五日の植樹祭 六
月二十日にはブルも完工
- ⑩ 壁面レリーフ



〈一般会計予算〉

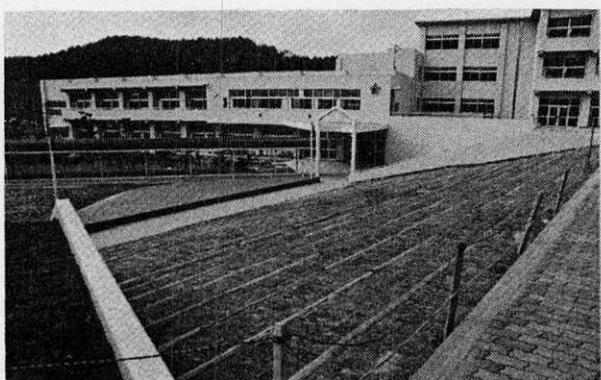


“愛と希望に満ちた教育と
香り高い文化をめざして”

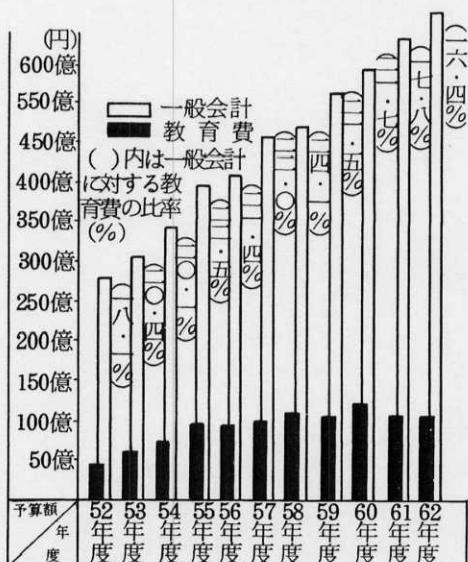
岡崎市の教育予算

◆ズームアップ◆

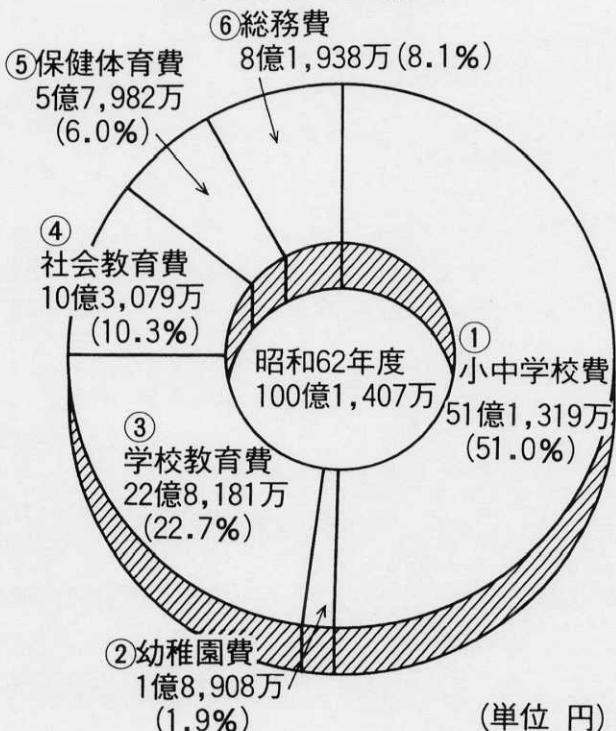
- ①義務教育施設の整備として、北中学校を新設
- ②校舎増改築は小学校三校、中学校一校、プール建設は小学校一校
- ③教育用備品の充実
- ④小学校管理用パソコン購入
- ⑤放送室冷房設備の設置
- ⑥新編岡崎市史の編さん事業
- ⑦学校營繕班作業用自動車購入
- ⑧岡崎市中央カルチャーホーム講座開設事業
- ⑨中学生弁論大会の開催



◆一般会計予算額と教育費の推移◆

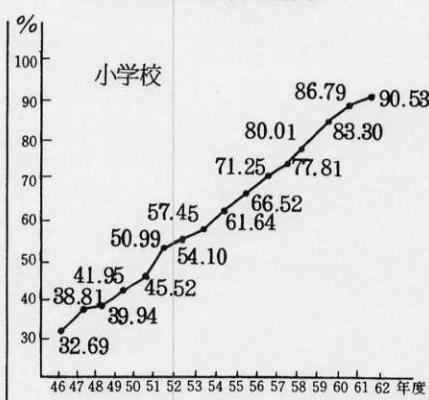


〈教育費の内訳〉



◆校舎鉄筋化率の推移◆

数字は各年5月現在の百分率



①小中学校費

○昭和62年度義務教育施設整備

- ・中学校新築（北中）
- ・校舎増改築（三島小、竜美丘小、生平小、城北中）
- ・屋内運動場等（北中）
- ・プール建設（常磐東小）

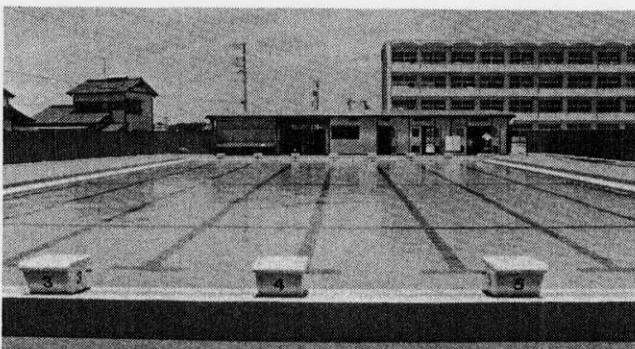
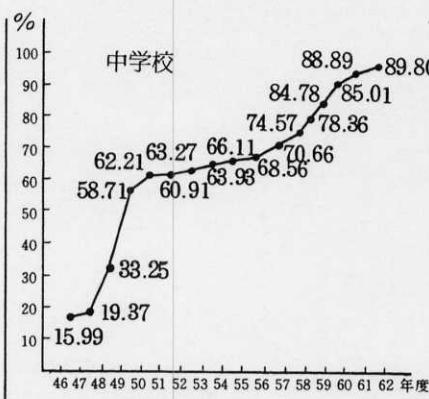
②幼稚園…………私立幼稚園就園奨励補助など

③学校教育費……教育用備品の充実、ハートピア岡崎の運営など

④社会教育費……図書館の充実、地域文化広場の運営など

⑤保健体育費……運動広場の整備、市民球場建設計画など

⑥総務費…………新編市史編さん事業など





ミニ絵本作り

井田小 金田 文子

「困つて泣いている」
「おこつている」「う
れしいから笑つてる」
等と、目を輝かせる。

さらに、「二・四・
六ページにお母さんのお話
を書く」ことを説明する。

鉛筆を動かす音や描いた絵を
見せ合つて喜ぶ声が響いていた。

今、子どもたちは、胸をあつく
して集中しているのだと思えた。

こうして、驚くほど、特徴を

よくとらえた顔が描かれ、「お

母さんがなくとわたしもかなし
い」「お出かけ前にそんなには

しゃいだら、せっかくのセット

がめちやくちやです」。「わらつ
てて牛乳ビンの整顿してくれる

K君。体はとても大きくてそ

うに見えるが心は優しいガバ君。

修学旅行の決済で、なかなか

決まらず困つとつた時、「しよ
うがないで俺がやつたる」と

言つてくれたC太やD君……。

そして廊下がいつもきれいな

はタンタンやドン、そしてヨコ

のおかげ。みんなみんな、と

てもいい人ばかり。最後に、い

母の日が近づいた。母子が楽
しく触れ合えるプレゼントをさ
せたいと思い、ミニ絵本を作ら
せてみることにした。そして、

ミニ絵本「お母さん」を作らせ
る授業の中で、「連想する」「想
像する」「創造する」といった

イメージーションの世界に引き
入れていくことを試みた。

まず、「母の日の贈り物にし
よう」と、教師の作ったミニ絵
本を見せて好奇心を抱かせる。

次に、紙の折り方・切り方・
ページの決め方を指導していく。

全員の目が私の手もとに集中し、
一つ一つの作業に真剣に取り組

む姿に胸があつくなる。
そして、黒板に次のような漫
画を描く。子どもたちから笑い
が起る。

「お母さん、どうした
の」と、絵を指してい
くと、子どもたちは、
くと、

こうして、学習活動にミニ絵
本作りを取り入れ、子どもたち
ひとりひとりのミニ絵本文庫を
作させていく試みが始まった。

この実践で学んだことは、教
えることを契機にして、子ども
たちを創造の世界に入らせて
くこと。このことは、子どもた
ちをいつそう集中させ、学習の
主人公にしていくことになると
いうことである。

(8)

教育日々



A子に感謝

甲山中 伊藤 友隆

「これらA夫、ホックがはずれて
いる。しっかりと踏んでい
る。直せ!」

「B夫、靴のかかとを踏んでい
る。直せ!」

「C太、机の上に落とした文書を
拾って机の上に置く。直せ!」

「D君、机の上に落とした文書を
拾って机の上に置く。直せ!」

「E君、机の上に落とした文書を
拾って机の上に置く。直せ!」

「F君、机の上に落とした文書を
拾って机の上に置く。直せ!」



・個人性を大切にしてやろう。
・一人ひとりの良い面をでき
るだけ見つけてやろう。

私はこれを読んだ時、うれし
くておもわざ涙が出た。同時に
悪いことばかり目につき、生徒
一人ひとりの良い面を見てやれ
なくなつて自分がとても恥
ずかしく思えた。いつの間にか
できるのがあたりまえ、やるの
があたりまえという考え方になつ
てしまつていた。

そんなある日、副級長のA子
が日記に次のようないことを書い
てきたのである。

「ヤッホー、先生元気。やっぱ
り三年二組は最高だね……。」
コーラス大会の時、声を出しき
つてくれたKちゃん。気をつか
つて牛乳ビンの整顿してくれる
K君。体はとても大きくてそ

うに見えるが心は優しいガバ君。
修学旅行の決済で、なかなか
決まらず困つとつた時、「しよ
うがないで俺がやつたる」と
言つてくれたC太やD君……。

そして廊下がいつもきれいな

だけでなく学校全体がやや生活
面で問題が出来始めているの
は事実であった。

新学期当初の私は、初めて会
う生徒一人ひとりに対しても夢を
持っていた。

だけでなく学校全体がやや生活
面で問題が出来始めているの
でやり学級のみんなをまとめて
くれたヤツチンと、友達思いの
こんなにすばらしい学級をつく
つてくれたヤクザ先生にぜひ金
メダルをあげたいです。

種目	性	成績			
		優勝	2位	3位	
陸上競技	男	美川	南	竜海	
	女	矢作	甲山	六ヶ美	
バレーボール	男	東海	甲山	矢作北	南
	女	竜南	矢作	竜海	南
卓球	男	竜海	葵	東海	矢作北
	女	南	常盤	東海	竜海
体操	男	東海	竜海	六ヶ美	
	女	六ヶ美	竜海	矢作	
新体操	男	東海	竜海	甲山	
	女	六ヶ美	竜海	矢作	
剣道	男	常磐	竜南	六ヶ美	城北
	女	東海	福岡	六ヶ美	竜南
ハンドボール	男	葵	六ヶ美	美川	城北
	女	六ヶ美	新香山	竜南	美川
柔道	男	竜南	美川	竜海	

○体操競技

男子	氏名	校名	女子	氏名	校名
個人総合	大原 哲也	東海	個人総合	市川 智子	六ヶ美
床運動	大原 哲也	東海	床運動	市川 智子	六ヶ美
鉄棒	山口 伸介	東海	平均台	渡辺 仁美	竜海
跳箱	浜口 祐志	竜海	跳箱	市川 智子	六ヶ美

○柔道

成績	氏名	校名
優勝	平岩	陸竜南



昭和62年度

●児童・生徒数・教職員数の実態

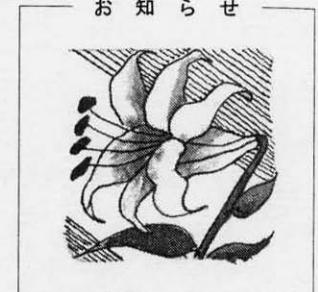
62.5.1現在

区分	学校数	学級数 (特殊)	児童・生徒数			校長・教員数 (非常勤講師を含む)			養護教員	事務職員	栄養職員
			男	女	計	男	女	計			
小学校	41	778(34)	13,603	13,255	26,858	507	500	1,007	41	44	12
中学校	16	388(19)	7,806	7,625	15,431	440	203	643	16	23	7
合計	57	1,166(53)	21,409	20,880	42,289	947	703	1,650	57	67	19
61年度計	57	1,180(54)	22,023	21,294	43,317	962	713	1,675	61	66	21

●学年別児童・生徒数

小学校			中学校				
学年	男	女	計	学年	男	女	計
1年	2,061	2,069	4,130	4年	2,248	2,265	4,513
2年	2,191	2,154	4,345	5年	2,468	2,200	4,668
3年	2,263	2,143	4,406	6年	2,372	2,424	4,796
				3年	2,581	2,571	5,152

第三十一回
岡崎市中学校
総合体育大会の記録



○陸上競技 •は新記録

男子	記録	氏名	校名
1年 100M	12" 9	足立和義	甲山
100M	11" 8	清水昭男	福岡
200M	• 23" 4	酒井浩之	葵
400M	53" 7	尾崎紀佳	竜南
800M	2' 12" 0	深見圭太	美川
3000M	9' 43" 8	寺田裕一	竜海
1年 1500M	• 4' 51" 3	木本将司	東海
2年 1500M	• 4' 31" 3	柴田英喜	福岡
110MH	16" 5	石川義弘	矢作北
800MR	1' 38" 2	美川中学校チーム	
低400MR	• 49" 2	南中学校チーム	
走り幅とび	6m 25cm	清水克真	竜海
走り高とび	1m 80cm	田中智博	竜南
砲丸投げ	13m 22cm	純浦好美	矢作
棒高とび	• 3m 50cm	岸義昭	美川
女子	記録	氏名	校名
1年 100M	14" 0	戸田かほる	六ヶ美
100M	13" 3	杉浦千絵美	葵
200M	27" 2	安沢真理	新香山
800M	2' 28" 8	青山まさ子	美川
100MH	16" 0	鈴木優子	福岡
低400MR	54" 9	城北中学校チーム	
400MR	53" 8	六ヶ美中学校チーム	
走り幅とび	4m 99cm	杉浦千絵美	葵
走り高とび	1m 50cm	浅井真由美	矢作
砲丸投げ	11m 38cm	津下恵花	美川
1500M	5' 30" 6	石井妙佳	甲山

なお、次の種目は、七月号に掲載します。

- 軟式野球
- 庭球（男）（女）
- ソフトボール
- バスケット（男）（女）
- 水泳競技

●学級・学校の規模

	小学校	中学校
1校当たり児童・生徒数	655人	964人
1校級当たり学年	19学級	24学級
1学級当たり児童・生徒数	35人	40人

● 表
カ 紙 写
ツ 詩 真

矢 北 中 井 田 小 浅 井 昭 二
杉 原 恵 美 子

今から百年以上前にも前に、岡崎で厚さ八センチを越える立派な漢字辞典が出版されていた。

「ほんぶん」書店がまだ屋号を「環翠堂」といつていた頃、家督をついだ伊藤小文司氏が発行したもので、本の名はその屋号をとつて「環翠玉篇大成」としており、社運をかけた意気込みが感じられる。

編輯人は内田不賢。

漢字の韻字四声や本字同字等が手短かに書きそえられている。

「ほんぶん」書店にその初版本が残されており、小文司氏の

子孫にあたる現社長にいろいろと伺うことができた。

「子どもの頃、三つの蔵の中には『環翠玉篇大成』その他の版本が山と積まれていたのを覚えているが、戦災で全て焼失してしまった」とのことである。

この辞典は当時ベストセラーになつたといわれ、全国一三〇をこえる書店が扱つた記録がある。

漢字の韻字四声や本字同字等が手短かに書きそえられている。

「ほんぶん」書店にその初版本が残されており、小文司氏の

環翠玉篇大成

泉

明治十一年四月六日發行御願
明治十一年十月 刊成

出版人 伊藤小文司

監修人 内田不賢

讀字四聲
英語訳解
書肆 三陽
環翠玉篇大成

岡崎市本町通 ほんぶん書店

おかげづくり四十年の加藤氏を訪ねる。
仕事場にあつた一本の薄汚れた木切れを、宝物を扱うような手つきでとりあげ、その木目の美しさ、木質の良さを熱い口調で説明してくれる。素人目には何の変哲もない木切れにしか見えないものにも、その本質を見ぬき、深い愛情をそぞろ職人の心を見た。

始業ベル緑陰の子等馳せ来る
れつ子 シ

葵博が終わつた。期間中の入出は百四十万人。予想をはるかに上回る観客を動員した。アイマックスを観る人々の行列、イベント館でジャズやロックに熱狂した若者達、市民のパワーが、ここに結集された。今博覧会場では、建物の片づけが始まり、元の静けさを取り戻そうとしている。

オ

上級生。それには無どん着に鉄棒や
る上級生。そこには夢中になつてゐた入学間もない頃の一年生。彼等もそろそろ学校生活になじんで来たようだ。学習の基盤となる
模範をこの機会に身につけさせたいと思う。

水泳、水遊び、子供達にとつて
楽しいシーズンがやって来る。

ス

葵博が終わつた。期間中の入出は百四十万人。予想をはるかに上回る観客を動員した。アイマックスを観る人々の行列、イベント館でジャズやロックに熱狂した若者達、市民のパワーが、ここに結集された。今博覧会場では、建物の片づけが始まり、元の静けさを取り戻そうとしている。

ア

夫の愛した庭の木もみんな葉を落とした。そして根元へ積み重ねている。来年の肥料にするためであろう。これが自然の営みというものであろう……。

私の身のまわりの人達はみんな遠い国に旅立つて逝ってしまった。父も母もそして弟も妹も、夫までもが、私一人残されて晩秋の透明な光の中で生きている。

苦楽を共にした家族との40年を振り返って、親子の絆とは何か、愛とは何か、熱情を込めて切々と訴える隨想集。

藤原てい
読売新聞社
¥1100

各学校とも、プール開きは、この月の初旬である。